



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5603 URL http://www.kogi.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,128	0.1	1,328	31.0	1,363	53.3	131	△60.1
28年3月期第3四半期	14,113	△4.1	1,014	44.8	889	67.4	329	69.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 124百万円 (△44.7%) 28年3月期第3四半期 224百万円 (△67.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	3.99	—
28年3月期第3四半期	9.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	23,447	10,988	38.2	271.33
28年3月期	20,996	10,505	42.7	271.36

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 8,959百万円 28年3月期 8,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当5円00銭 記念配当1円00銭 (創業100周年記念配当)

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,800	2.5	1,700	15.8	1,700	39.8	240	△55.6	7.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）南通虹岡鑄鋼有限公司、 除外 1社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	33,621,637株	28年3月期	33,621,637株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	600,145株	28年3月期	599,296株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	33,022,126株	28年3月期3Q	33,022,980株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が弱含みで推移している一方で、英国のEU離脱問題や米国の大統領選挙の影響による海外経済の不確実性の高まりによって、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもとで当社グループは、『1. 社会における「信頼」の創造』、『2. 社内における「相互信頼」の醸成と「自立人」の育成』、『3. 新たな領域への挑戦』を柱とする第5次3カ年計画（平成28年～平成30年度）を新たにスタートさせ、国内事業の基盤強化に努め、また、海外事業においても、本年6月、中国江蘇省南通市に南通虹岡鑄鋼有限公司を設立するなど、事業の拡大を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高141億2千8百万円（前年同期比 0.1%増）、営業利益13億2千8百万円（前年同期比 31.0%増）、経常利益13億6千3百万円（前年同期比 53.3%増）となり、これに特別損失として投資有価証券評価損を5億5千4百万円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益1億3千1百万円（前年同期比 60.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鑄物関連事業

鑄型は、エネルギー関連の低迷で、鍛鋼、厚板用鑄型の需要は伸び悩んだものの、主要顧客先の設備更新に伴う需要増により、売上高は、前年同期を上回りました。ロール、大型産業機械用鑄物は、各主要顧客先の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。自動車用プレス金型鑄物は、国内カーメーカー向け需要が低水準ながらも、前年同期並みで推移しました。小型鑄物は、下水道鉄蓋は低調に推移しましたが、機械鑄物が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。デンスバーは、工作機械向けの低迷で国内需要が減少したものの、輸出売上を伸ばし、売上高は、前年同期並みで推移しました。中国国内で自動車用プレス金型鑄物の生産・販売を手がける天津虹岡鑄鋼有限公司は好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、121億2千万円（前年同期比 1.1%減）、セグメント利益 13億2千4百万円（前年同期比 64.7%増）となりました。

② その他の事業

送風機は、民間設備投資が依然低調なものの、環境関連の大口案件があり、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、自動車関連向けは減少傾向にありますが、IT関連向け検査装置冷却用クーラー等の需要増により、売上高は、前年同期並みで推移しました。KCメタルファイバーは、自動車向け需要が低水準にあり、売上高は、前年同期を下回りました。KCカーボンセラミックスは、アルミ・銅関連が順調に推移し、売上高は、前年同期を上回りました。環境装置事業は、大型案件受注により、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、20億1千1百万円（前年同期比 7.8%増）、セグメント利益 1億4千6百万円（前年同期比 5.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、142億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億9千万円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が18億1千4百万円、電子記録債権が5億5千8百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が1億4千5百万円減少したことなどによります。

固定資産は、91億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千9百万円増加いたしました。これは、主として有形固定資産が1億1千万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、234億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億5千万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、84億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億2百万円増加いたしました。これは、主として短期借入金が8億6千4百万円、支払手形及び買掛金が3億4千7百万円増加したことなどによります。

固定負債は、39億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ8億6千4百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が7億2千8百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、124億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億6千7百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、109億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8千3百万円増加いたしました。これは、主として非支配株主持分が4億8千4百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の42.7%から38.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の業績予想につきましては、本日発表の「特別損失（投資有価証券評価損）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、投資有価証券評価損を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表値を下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後様々な要因により、実際の業績が異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,025	3,839
受取手形及び売掛金	6,343	6,198
電子記録債権	461	1,020
商品及び製品	1,040	1,050
仕掛品	1,011	1,165
原材料及び貯蔵品	709	757
繰延税金資産	165	68
その他	167	208
貸倒引当金	△21	△13
流動資産合計	11,903	14,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,706	1,716
機械装置及び運搬具(純額)	2,799	2,694
土地	1,220	1,220
その他(純額)	864	1,071
有形固定資産合計	6,591	6,702
無形固定資産	19	11
投資その他の資産		
投資有価証券	2,109	2,085
繰延税金資産	48	—
退職給付に係る資産	198	232
その他	124	120
貸倒引当金	—	△0
投資その他の資産合計	2,481	2,438
固定資産合計	9,092	9,152
資産合計	20,996	23,447

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,993	3,341
短期借入金	1,870	2,734
未払法人税等	180	139
賞与引当金	159	87
その他	2,170	2,174
流動負債合計	7,375	8,477
固定負債		
長期借入金	2,897	3,625
繰延税金負債	—	132
未払役員退職慰労金	47	47
退職給付に係る負債	157	164
その他	12	9
固定負債合計	3,115	3,980
負債合計	10,490	12,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	587
利益剰余金	6,043	6,010
自己株式	△68	△69
株主資本合計	8,564	8,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	478
繰延ヘッジ損益	△2	△18
為替換算調整勘定	382	36
退職給付に係る調整累計額	△79	△68
その他の包括利益累計額合計	396	428
非支配株主持分	1,544	2,029
純資産合計	10,505	10,988
負債純資産合計	20,996	23,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	14,113	14,128
売上原価	11,456	11,128
売上総利益	2,657	2,999
販売費及び一般管理費	1,643	1,670
営業利益	1,014	1,328
営業外収益		
受取利息及び配当金	43	27
寄付金収入	—	67
その他	44	45
営業外収益合計	87	140
営業外費用		
支払利息	54	42
為替差損	4	31
持分法による投資損失	127	—
その他	25	31
営業外費用合計	212	105
経常利益	889	1,363
特別損失		
投資有価証券評価損	—	554
特別損失合計	—	554
税金等調整前四半期純利益	889	808
法人税、住民税及び事業税	270	323
法人税等調整額	44	61
法人税等合計	314	385
四半期純利益	574	423
非支配株主に帰属する四半期純利益	245	291
親会社株主に帰属する四半期純利益	329	131

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	574	423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△278	381
繰延ヘッジ損益	5	△15
為替換算調整勘定	△72	△677
退職給付に係る調整額	9	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	—
その他の包括利益合計	△350	△299
四半期包括利益	224	124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14	164
非支配株主に係る四半期包括利益	209	△39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	12,253	1,859	14,113	—	14,113
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	5	△5	—
計	12,253	1,865	14,118	△5	14,113
セグメント利益	804	154	958	△69	889

(注) 1. セグメント利益の調整額△69百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△126百万円、営業外収益が87百万円、営業外費用が△30百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	12,120	2,007	14,128	—	14,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	3	△3	—
計	12,120	2,011	14,131	△3	14,128
セグメント利益	1,324	146	1,471	△107	1,363

(注) 1. セグメント利益の調整額△107百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△178百万円、営業外収益が133百万円、営業外費用が△62百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。